

2学期 始業式校長講話

「今、君に何が出来るか」

おはようございます。

44日間の長かった夏休みも終わり、今日から2学期がスタートします。

夏休みは充実していましたか。部活動に一生懸命取り組んだ人、受験勉強に力を注いだ人、家族との充実した時間を過ごした人、夏休みにしかできない経験をした人、中にはのんびりしすぎて体内時計がくるってしまった人もいるかもしれません。

今日からまた、学校での生活が始まります。2学期の登校日数は一番多く、76日です。この76日を充実したものにするかどうかはみなさん自身にかかっています。そこで2学期の初めにあたって今日のテーマは「今、君に何が出来るか」にします。

1学期のはじめに「変わる」という話をしました。そして1学期末の終業式でみなさんに「変わることが出来ましたか」と聞き、心の通知票をつけてみようと話しました。でも具体的に変わるポイントを示してなかったなど少し反省しました。だから2学期の初めに、みなさんに自問自答・・簡単に言うと考えてほしいのは「今自分にできることは何だろう」と言うことです。2学期には大きな行事もたくさんあります。生徒会も交代したり、委員会や係活動も後期に

なって入れ替わります。みなさんには活躍する場面が数多くあります。学校の
主役は言うまでもなくみなさん方・生徒です。授業で、クラスで、部活動で、
委員会や係活動で、どうしたら集団がより良くなるか？そのためには「今自分
に何が出来るだろうか」と考えられる人になってほしいということです。

先生に言われたからやる、とか内申書に有利だからやるなんてけちな事を考
えているならやらないほうがいい。アメリカ第35代大統領ジョン・F・ケネ
ディはその就任演説の中で“**And so, my fellow Americans: ask not what your
country do for you- ask you can do for your country.**” 「アメリカ国民のみな
さん、国があなたのために何をしてくれるかではなく、あなたが国のために何
が出来るかを考えてください」と話しました。学校や先生が生徒のために何か
してくれるのを待つのではなく、生徒であるみなさんが「学校のために何が出
来るか」という発想の転換をしてほしいと思います。

ここにいる846人の人がそれぞれ「自分に何が出来るか」を考えて行動し
たら、これはもう相当すごいことになると思います。あっという間に学校は変
わると思います。

生徒が生徒の力で学校生活をより良くしていくこと、それを難しく言うと
「自治の力」と言います。自治委員の自治とはそういうことです。

今日から始まる2学期、最初の日にみなさんに私からもう一度聞きます。

学校のために「今、君に何が出来るか」・・・ 終わります。